

昭和病院の移転・新築及び法人合併について

1. 移転・新築の理由

現在の昭和病院は、昭和60年に新築されたもので、建築から既に34年を経過しており建物・設備とも経年のため老朽化が著しく、将来に亘って病院としての機能を維持、存続していくことが困難な状況にある。

また、汐入町の高台に位置しており、幹線道路からもはずれ、進入路も十分にとれないような不便な立地条件下で運営して来た。このため、吉水内科、勝山サテライトクリニックを昭和病院の外来機能としているところであるが、近隣住民や患者からの利便性を望む声が多い。

医療法人茜会では、上記状況を勘案して既に、新病院の建設敷地を確保しており、現在地から1.7km市内中心部の場所に移転・新築することを決定したものである。

2. 医療法人社団豊関会との法人合併について

医療法人社団豊関会は、豊関会記念病院（療養病床53床）を運営して、地域の医療及び地域住民の健康維持に貢献してきたが、診療機能や病床規模を勘案したとき、今後の病院運営、地域貢献や経営を維持して行くことが困難となることが想定される。同会では医療供給体制の弱体化を懸念し、民間病院として同じ療養病床を運営し、幅広く地域に貢献している医療法人茜会への合併申入れを行った。

医療法人茜会は、この申し入れを慎重に協議した結果、医療法人社団豊関会と同じ理念の下、支援・協同することにより、下関医療圏における医療の提供に貢献できるとの結論により合併合意に至ったものである。

3. 現昭和病院の跡地等の利用

入院・外来等の診療機能は全て移転する予定であるが、新病院敷地等で計画できない在宅診療等の拠点施設として活用して行きたい。

例えば、訪問リハビリの車輛の出発拠点等

4. 新病院開院までの主な予定

工事着工（新築）	2020年3月
竣工予定	2021年10月
新病院開院予定	2021年12月

(別添)

豊関会記念病院

医療機関2025プラン

平成30年10月 策定
(平成31年 2月 改定)
(令和 2年 1月 改定)

【基本情報】

医療機関名	豊関会記念病院
開設主体	医療法人社団豊関会
所在地	山口県下関市長府江下町2番10号
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	53床 療養病床 53床 慢性期 53床
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	53床 療養病床 53床 慢性期 53床
診療科目	内科・リハビリテーション科
職員数 ・ 医師 ・ 看護職員 ・ 専門職 ・ 事務職員	50名 8名(常勤換算 4.33名) 20名 20名 2名

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

(令和1年12月)

- ・ 届出入院基本料 療養病棟入院基本料 1
- ・ 医療区分2・3以上の割合 82%
- ・ 1日平均入院患者数 50.5人 (180日超 35人/58人)
- ・ 1日平均外来患者数 9人
- ・ 疾患別リハビリテーション
運動器リハビリテーション科 8人
呼吸器リハビリテーション科 1人

自施設の課題

- ・ 外来患者の減少
- ・ 病院設備の老朽化
- ・ スプリンクラーの未設置

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

- ・ **茜会との統合を行い、専門な診療および在宅医療に対応したい。**

② 今後持つべき病床機能

- ・ **療養病床の維持・存続**

③ その他見直すべき点

- ・ 医療機関全体として、外来患者が低下傾向であり、今後の医療需要の推移を加味して、最適な形態について検討する。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			
回復期			
慢性期	57		53
休棟等			
(合計)	57		53
介護保険施設へ移行予定	—		—
うち、介護医療院	—		—

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標
2020	開設者の変更 (茜会と合併)	診療機能及び病床数の変更はない

② 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

--

③ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

--

【4. その他】(自由記載)

<p>・今後の方針の現在欄は57床で計上しているが、令和1年5月に慢性期57床から53床に変更している。</p>
--

(別添)

昭和病院

医療機関2025プラン

平成30年 10月 策定
(令和2年 1月 改定)

【基本情報】

医療機関名	医療法人茜会 昭和病院
開設主体	医療法人茜会
所在地	下関市汐入町 35 番 1 号
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	338 床 一般病床 164 床、療養病床 174 床 回復期 160 床、慢性期 178 床
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	338 床 一般病床 164 床、療養病床 174 床 回復期 160 床、慢性期 178 床
診療科目	内科、脳神経内科、消化器科、循環器科、外科、整形外科、皮膚科 泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、歯科
職員数 ・ 医師 ・ 看護職員 ・ 専門職 ・ 事務職員	457 名 19 名 178 名 112 名 43 名

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

届出入院基本料：一般病棟入院基本料（急性期一般5）、回復期リハビリテーション病棟入院料1、地域包括ケア病棟入院料2、障害者施設等入院基本料10対1、特殊疾患病棟入院料1、療養病棟入院基本料（入院料1）、

在宅療養後方支援病院

通所リハビリテーション・訪問リハビリテーション・居宅介護支援事業所併設

救急搬送受入：年間 55件、 病床稼働率 98.4%

② 自施設の課題

- ・高齢者、特に独居高齢者や認知症高齢者への医療ニーズの増加に対応
- ・回復期リハビリテーション、在宅サービス、後方支援機能の一層の強化
- ・神経難病患者・人工呼吸器装着患者の受け入れ拡大、在宅療養困難者の増加への対応
- ・有能な医療介護人材の育成、新技術の開発、地域介護力の向上、健康な街づくりへの支援
- ・施設設備の改築更新
- ・医療法人社団豊関会との法人合併

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

- ・地域包括ケアシステムの構築に寄与する

明るい超高齢社会には、住み慣れた場所を中心に、医療、介護、予防、生活支援サービスを充足させる地域包括ケアシステムの構築が期待されている。当院は、今後とも回復期リハビリテーションをはじめ、通所リハビリや訪問リハビリ等の在宅サービスの充実を一層進めて行く。また、亜急性期救急患者の受入れなど、後方支援病院としての機能充実を図り、地域包括ケアシステム構築の一翼を積極的に担って行く。

- ・神経難病患者・人工呼吸器装着者等、在宅療養困難者の増加への対応

当院はこれまで、神経難病患者や人工呼吸器装着患者など、在宅療養の困難度が高い専門医療分野の患者を多く受入れており、今後もその要請に一層応えて行く。

- ・人材の育成、新技術の開発導入、地域介護力の増進

超高齢社会に相応しい優秀な医療介護人材の育成や、ロボットリハなどの新技術の導入、地域の社会資源を賦活して地域介護力を増進するなどの社会貢献に取り組んでいく

② 今後持つべき病床機能

特になし

③ その他見直すべき点

- ・新病院の新築工事により市内後田町に移転

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			
回復期	160		160
慢性期	238		178
休棟等			
(合計)	398		338
介護保険施設へ移行予定	—		60
うち、介護医療院	—		60

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標
2019	慢性期病床60床を介護医療院に転換（済み）	地域で過剰な慢性期病床の削減
2020	医療法人社団豊関会との合併	組織統合
2021	新病院の新築工事により移転	所在地：下関市後田町1丁目1-1

② 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
--

③ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・

【4. その他】（自由記載）

<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度病床機能報告は合計398 床で計上しているが、平成31年4月に慢性期60床を介護医療院へ移行した後は、回復期160床、慢性期178床の合計338床で運営している。 ・昭和病院の移転・新築後の所在地は、下関市後田町1丁目1-1となる。
--